

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1

回答日 2013年6月28日

東京大学大学院総合文化研究科
難民移民ドキュメンテーションセンター
Center for Documentation of Refugees and Migrants
〒153-8902 目黒区駒場 3-8-1 東京大学駒場キャンパス 9 号館 307
TEL/FAX 03-5465-8846 <http://cdr.c.u-tokyo.ac.jp/>

Q.スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

キーワード：Sri Lanka, Tamil, LTTE, return, persecution, 2009, スリランカ、タミル人、迫害、帰還者、内戦、民族、紛争

以下の情報は、所定の時間的制約の中で、上記のとおり与えられた質問(クエリ)に関連する情報について、東京大学 CDR が難民認定申請者および認定権者の双方とも距離を置いた中立な第三者として、回答日時に入手可能な公開情報を調査した結果として提示されるものである。

この情報は、難民認定における最終判断を誘導する目的で提供されるものではなく、難民認定申請および審査のための調査に必要な材料提供の一環として行われるものに過ぎない。本来、言及されている情報はいずれもそれぞれ原文の文脈を離れて部分的に利用できるものではないことを踏まえ、最終的には判断権者にその活用の是非を委ねるものである。

なお、個別の申請について申請者や質問者の個人情報が間接的にせよ特定される危険性のある質問には、そもそも回答していない。

すべての情報の著作権はその著者に帰属するものであり、この回答における情報の如何なる二次使用も著作権の保護に十分配慮した方法によらなければならない。

本文中の「公表日」および「閲覧日」における表記法は、「日/月/西暦年」である。ページ左記の「行番号」は、情報を正確に指摘するため、ページ右下のページ番号とともに適宜利用されたい。

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1. スリランカ出身の庇護希望者に対する国際的保護の必要性について

情報源： United Nations High Commissioner for Refugees

公表日：22.12.2006

閲覧日：27.06.2013

出典：http://www.unhcr.or.jp/protect/pdf/Position_SriLanka.pdf

引用箇所の原文：

...

14. 広範囲にわたる治安悪化と北部・東部における武力紛争の影響に加えて、これら地域出身或いは居住中のタミル人たちは、あらゆる武力紛争当事者によって人権侵害の標的になるという危険にさらされている。政府軍・LTTE・民兵組織・武装集団らの手によって、北部・東部出身のタミル人に対して嫌がらせや脅迫、逮捕、拘禁、拷問、拉致や殺害といった危害が加えられていることが頻繁に報告されている。

15. LTTEとの関係が疑われる人物は、当局や、また政府から支援を受けていると言われる武装集団による人権侵害の危険にさらされている。同様に、LTTEを支持しない人々や政府の支持者や政府親派であるとされた人々は、LTTEによる深刻な人権侵害の危険にさらされるのである。LTTEは、自らをタミル民族の唯一の政治的代表団体であるとしており、反対意見は決して容認されない。政府寄りの密告者だと疑われた者たちや、LTTE以外での政党で活動する者たち、そして政府で低い役職に就いている者すらも含めて、LTTEに逆らっているとみなされるタミル人は暗殺の危機にさらされているのである。

16. 2002 年の停戦以降、LTTEは 200 件以上の特定の者を標的にした殺害に関わっており、その多くは彼らの政治的反对者だとみなされたタミル人である。LTTEは反対派を国中どこであつても追い詰めて殺害できるということを多くの事件を通じて示してきており、これは特定の者を狙った数々の殺人事件や、コロンボや政府の支配下にあるその他の地域で数多くのクレイモア対人地雷や

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回 答 日 2013年6月28日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

- 1 その他の爆発装置が発見されたり爆発していることによって明らかである。
- 2 17. ナンバープレートのない白いヴァンで移動する民兵組織部隊は、2006 年に入っ
- 3 て急増している失踪事件の一部に関与していると報道されている。ここ一年に、
- 4 北部で起こった 62 件の失踪事件について、スリランカ国内人権委員会に届出
- 5 がなされた。委員会はまた、いまなお行方不明になっている 183 人について
- 6 も捜索活動を行っている。国家的支援疑惑のある民兵組織や 軍隊、LTTEの
- 7 他にも、イーラム人民民主党(EPDP、治安部隊との関連があるタミルの 野党)
- 8 やカルーナ派もまた、拉致、失踪、超法規的殺害やその他の形での迫害に関
- 9 与している。超法規的・即決・恣意的処刑に関する特別報告者(Special Rapporteur
- 10 on Extrajudicial, Summary or Arbitrary Executions)であるフィリップ・アルス
- 11 トン(Philip Alston)氏は、2005 年 11 月 28 日から 12 月 6 日までスリラン
- 12 カを訪れ、超法規的処刑は「蔓延する警察による拷問や、軍によってなされたり
- 13 容認される虐待行為を抑制できていないという事態を示すもの」であり、
- 14 「さまざまな武装集団、とりわけLTTEによる、LTTEを支持しないタミル人を殺
- 15 害したり、軍事報復を引き起こすための組織的な営み」を示すものであると、(国
- 16 連に提出した)報告書の中で述べている。
- 17 18. 北部や東部において若いタミル人たちは女性も男性も、LTTEと(または)カルー
- 18 ナ派によって強制的に徴集される危険にさらされ続けている。報道によれば、
- 19 LTTEはその支配地域 における強制的な徴集に依存しているとされるが、カル
- 20 ーナ派は強制徴集活動を政府支配地域で行っているとされている。LTTE
- 21 とカルーナ派はともに強制的な徴集活動の疑惑を否定 しているが、すべての家
- 22 庭に対して、家族から少なくとも一人は戦闘員として提供しなければならない
- 23 という大きな圧力がかけられている。東部で戦闘が激化しているがゆえに、避
- 24 難キャ ンプを含め公然の場におけるカルーナ派による徴集が、増加している。
- 25 強制的に徴集された者 たちの家族は、報復を恐れて、これら拉致の被害を届け
- 26 出ようとしな。LTTEとカルーナ 派の競合する圧力から逃れるため、また彼

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

- 1 らに応じなかったときの報復の恐怖に怯えて、多く の人々が北部・東部から避
2 難している。報復は深刻な性質のものとなりえ、拷問や、迫害に相当するに十
3 分な重大性を備えたその他の形態の人権侵害を含む場合もある。
- 4 19. とりわけ子どもは、軍事的徴兵・徴集による人権侵害の危険に曝されている。
5 未成年者の徴 兵・徴集はLTTEと政府支配地域の両方で行われているとされて
6 いるが、後者はカルーナ派 によるものとの報道がある。未成年者の徴集自体
7 が子どもの人権の著しい侵害であり、迫害 にあたるということは、強調すべき
8 である。
- 9 20. 2006 年 4 月 25 日に起きたサラトゥ・フォンセカ陸軍中將を狙った自爆攻撃
10 の後、軍当局は治 安維持体制を停戦合意以前のものに戻した。その結果、北部
11 及び東部もしくはコロomboの主要 道路や市街地に多くの検問所が再び設置さ
12 れ、タミル人が政府支配地域を移動することがとり わけ困難になった。なかで
13 もLTTE支配地域で生まれた人々にとっては(出生地が身分証明 書に明記されて
14 いるため)、検問所を通過するのが難しく、(移動に際し)様々な嫌がらせを 受け
15 ている。
- 16 21. また、移動の自由が制限されることによって、人道的アクセスや援助の提供に
17 好ましくない影 響が及んでいる。国連や赤十字国際委員会(ICRC)、政府のトラ
18 ックや船によっていくらか の物資は民間人へ届くが、ジャフナ半島とLTTE支
19 配地域(キリノーチ(Kilinochchi)県、 ムライティヴ` (Mulaitivu)県、マナー
20 (Mannar)県の一部、バブニヤ(Vavuniya)県の一 部、トリンコマレ県の一部、バ
21 ティカロア県の一部)では食料、燃料、医薬品やその他の必需 品が非常に不足し
22 ている。
- 23 22. 政府軍は北部、東部のLTTE支配地域には足を踏み入れられない。ゆえに北部、
24 東部から 政府の保護を求めたい人々は政府支配地域まで移動しなければなら
25 ない。武力紛争による危険 に加えて、LTTEはLTTE支配地域外への民間人の移
26 動を制限しており、そうすることで 民間人の政府支配地域への流出を阻止して

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013年6月28日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 いる。たとえ個々人が政府支配地域へ到達したとしても、必ずしも政府当局の
2 保護を受けられるわけではない。LTTE の反対勢力に対する追跡・標的能力が
3 国中に張り巡らされていることに鑑み、その人物がLTTEに攻撃の標的にされて
4 いる場合は、特にそうである。

備考：

6 引用箇所原文における脚注は省略している。

7

2. スリランカ政府による民間人の拘束を示す記事

9 情報源：ヒューマンライツ・ウォッチ

10 公表日：11.06.2009

11 閲覧日：16.06.2013

12 出典：<http://www.hrw.org/ja/news/2009/06/11>

引用箇所の原文：

14 2008年3月以来、スリランカ政府は、タミル・イーラム・解放の虎が支配していた地
15 域から逃れてきたほぼ全ての民間人を、「福祉センター」及び「暫定救援村」と政
16 府が呼ぶ施設に拘束してきた。解放されたのは、高齢者を中心とする少数の人びと
17 だけで、受け入れ家庭や高齢者用施設に行くことができた。しかし、圧倒的大多数
18 は今も拘束されたままである。6月5日現在、スリランカ当局は北部のヴァヴニヤ
19 (Vavuniya)、マナー (Mannar)、ジャフナ (Jaffna)、トリンコマリー (Trincomalee)
20 の4地域にある40のキャンプに278,263名の人々が拘束されている、と国連は報告し
21 た。

22 拘束されている者の多くは、この地域に近い親戚がいて、キャンプを出ることが許
23 されれば、こうした親戚たちと一緒に暮らすことが出来る。

24

3. LTTE からの迫害により日本で難民認定されたとされる事例

26 情報源：在日難民との共生ネットワーク

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 公表日：21.12.2009
2 閲覧日：16.06.2013
3 出典：<http://www.rafiq.jp/siryou/news/091221mai.html>
4 引用箇所の原文：

5 スリランカでは 83 年から、多数派シンハラ人中心の政府軍と少数派タミル人の反
6 政府組織「タミル・イーラム解放のトラ（LTTE）」が武力衝突。02 年に停戦
7 が発効したが、06 年ごろ衝突が再び激化し、今年 5 月に政府軍の勝利で内戦が終
8 結した。男性はタミル人で、LTTE への協力を拒否して脅され、06 年 7 月に日
9 本へ逃れた。

10

11 4. イギリスから帰還したスリランカタミル人に対する拘束の事例

12 情報源：Freedom from Torture

13 公表日：13.9.2013

14 閲覧日：28.06.2013

15 出典：

16 [http://www.freedomfromtorture.org/sites/default/files/documents/Freedom%20from](http://www.freedomfromtorture.org/sites/default/files/documents/Freedom%20from%20Torture%20briefing%20-%20Sri%20Lankan%20Tamils%20tortured%20on%20return%20from%20the%20UK_0.pdf)
17 [%20Torture%20briefing%20-%20Sri%20Lankan%20Tamils%20tortured%20on%20ret](http://www.freedomfromtorture.org/sites/default/files/documents/Freedom%20from%20Torture%20briefing%20-%20Sri%20Lankan%20Tamils%20tortured%20on%20return%20from%20the%20UK_0.pdf)
18 [urn%20from%20the%20UK_0.pdf](http://www.freedomfromtorture.org/sites/default/files/documents/Freedom%20from%20Torture%20briefing%20-%20Sri%20Lankan%20Tamils%20tortured%20on%20return%20from%20the%20UK_0.pdf)

19 引用箇所の原文：

20 . . .

21 Detention

22 In all of the 6 cases the individual was detained within a month of their return and in some
23 cases within days. All were arrested by the Sri Lankan police or military and they were
24 picked up either from their home or at checkpoints. Two of the 6 cases were detained
25 twice; on the first occasion they were interrogated and then released within 2 days with no
26 ill-treatment. Both were, however, subsequently detained again for several months and

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 tortured. The length of detention across the 6 cases ranged from 2 days to 3 months, with 4
2 being detained for less than a month.
3 All cases reported escaping from detention when a family member paid a bribe for their
4 release, which raises serious concerns about other victims without the necessary funds or
5 connections to secure release. . . .
6 . . .

7 Interrogation patterns

8 As well as being interrogated about their associations with the LTTE in Sri Lanka as
9 described above, **5 of the 6 cases were interrogated during their detention specifically**
10 **about their activities or contact with and/or knowledge about the LTTE in the UK.**

11 Individuals reported being interrogated about:

- 12 ● LTTE contacts in London
- 13 ● the whereabouts of named LTTE members or supporters in London
- 14 ● LTTE fundraising activities in London and their involvement in this or other
- 15 forms of work for the LTTE

16 . . .

17 Conclusion

18 When looked at together, these 24 cases of Tamil returnees from the UK with a real or
19 perceived LTTE affiliation who were targeted for detention and torture in Sri Lanka
20 demonstrate that torture is ongoing despite the conclusion of the civil war. They further
21 indicate that (a) the fact that an individual did not face adverse consequences in the past
22 because of their actual or perceived association with the LTTE *at any level* is not decisive
23 now in assessing risk on return; because (b) return from the UK specifically has been a
24 factor in the Sri Lankan authorities' decision to detain with a view to obtaining further
25 intelligence about historical or current LTTE activity in both Sri Lanka and the UK. They raise
26 the strong concern that Sri Lankan Tamils who have lived in the UK, with a previous or live

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. .スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 LTTE association (actual or perceived), are being targeted because they are suspected by
2 the Sri Lankan authorities of (i) being engaged in political activities while living in the UK;
3 and/or (ii) having knowledge about LTTE activity in the UK. There should be a pause in
4 forcible removals of Tamils to Sri Lanka while the UK Border Agency's policy on removals to
5 Sri Lanka is changed to properly reflect this evidence.

内容の要約：

身柄拘束

6 6件すべてにおいて、帰還後一ヶ月以内、ケースによっては数日以内に身柄を拘束さ
7 れた。全員がスリランカ警察または軍により、自宅またはチェックポイントで逮捕
8 された。6件のうち2件は2度拘束された。1回目は尋問を経て2日以内に釈放されたが、
9 後に数ヶ月間拘禁され拷問された。すべてのケースにおいて、家族が賄賂を払った
10 ために釈放されたと報告されているため、資金やコネのない被害者について懸念さ
11 れる。・・・

12 ・・・

結論

13 ・・・内戦の終了にもかかわらず、拷問は引続き行われている。...LTTEとの関係を理
14 由に過去に問題があったか否かは帰還の危険性評価において決定的ではない。...英国
15 で暮らしたスリランカのタミル人で、LTTEと以前のまたは現在の関係を有する者（実
16 際に関係を有する者あるいは有すると思われる者）は、(i) 英国内で政治活動に
17 関与した、及び／または (ii) 英国内のLTTEの活動について知っている、と疑われる
18 ためスリランカ当局により標的とされるという強い懸念を抱かせる。タミル人のス
19 リランカへの強制送還は・・・停止されるべきである。

5. スリランカ出身の庇護希望者に対する国際保護の必要性評価

情報源：United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR)

公表日：21.12.2012

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 閲覧日：10.06.2013

2 出典：<http://www.refworld.org/docid/50d1a08e2.html>

3 引用箇所の原文：

4 . . .

5 UNHCR considers that individuals with these profiles - though this list is not exhaustive -
6 may be, and in some cases are likely to be in need of international refugee protection,
7 depending on the individual circumstances of their case.

8 (i) persons suspected of certain links with the Liberation Tigers of Tamil Eelam (LTTE);

9 (ii) certain opposition politicians and political activists;

10 (iii) certain journalists and other media professionals;

11 (iv) certain human rights activists;

12 (v) certain witnesses of human rights violations and victims of human rights violations
13 seeking justice;

14 (vi) women in certain circumstances;

15 (vii) children in certain circumstances; and (viii) lesbian, gay, bisexual, transgender and
16 intersex (LGBTI) individuals in certain circumstances.

17 UNHCR considers that an internal flight or relocation alternative is not available in Sri
18 Lanka in cases where the feared persecution emanates from the state itself or elements
19 associated with it. Given the small size of the country, coupled with the broad reach of the
20 security apparatus, the effective territorial control maintained by the Sri Lankan Army
21 (SLA) since the end of the armed conflict, the “relevance” criterion of the internal flight or
22 relocation alternative test would not be met in such cases. An internal flight or relocation
23 alternative may be available in cases where the feared persecution emanates from
24 non-state agents. In instances where an internal relocation option would be relevant, it
25 may nevertheless not be reasonable, depending on the circumstances of the individual
26 case. Serious social and economic challenges remain in areas previously affected by armed

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 conflict, where livelihood opportunities are extremely limited.
2 . . .
3 Some sources have reported recent cases of former Sri Lankan (in particular Tamil)
4 asylum-seekers who were allegedly detained and ill-treated or tortured after having been
5 forcibly returned to Sri Lanka upon rejection of their asylum claims or who voluntarily
6 returned to Sri Lanka. . . .
7 . . .
8 Human Rights Watch has reported thirteen cases of arbitrary arrest and torture of failed
9 Tamil asylum-seekers, upon their return to Sri Lanka, most recently in February 2012. See:
10 Human Rights Watch, “UK: Halt Deportations of Tamils to Sri Lanka. Credible Allegations of
11 Arrest and Torture upon Return”, 25 February 2012,
12 <http://www.hrw.org/news/2012/02/24/uk-halt-deportations-tamilssri-lanka>, and Human
13 Rights Watch, “UK: Suspend Deportations of Tamils to Sri Lanka. Further Reports of
14 Torture of Returnees Highlight Extent of Problem”, 29 May 2012,
15 <http://www.hrw.org/news/2012/05/29/uk-suspend-deportations-tamils-sri-lanka>.
16 Freedom from Torture has documented 54 cases of Sri Lankans (predominantly Tamils),
17 who experienced torture in detention in the post-conflict period (i.e. after May 2009),
18 including cases of individuals who were tortured after having voluntarily or forcibly
19 returned from the United Kingdom to Sri Lanka. See: Freedom from Torture
20 (formerly the Medical Foundation for the Care of Victims of Torture), Sri Lankan Tamils
21 tortured on return from the UK, 13 September 2012,
22 <http://www.unhcr.org/refworld/docid/505321402.html>. The total of 54 cases includes 35
23 cases of post-conflict torture in Sri Lanka documented earlier, including of 14 individuals
24 who returned to Sri Lanka after a period abroad (in three cases the person was forcibly
25 returned from a European State, upon rejection of the asylum claim). See: Freedom from
26 Torture, Freedom from Torture submission to the Committee against Torture for its

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 examination of Sri Lanka in November 2011, undated, last accessed November 2012,
2 http://www2.ohchr.org/english/bodies/cat/docs/ngos/FFT_SriLanka47.pdf.

3 . . .

4 内容の要約：

5 以下のプロフィールの者は、難民保護を必要とする可能性があるか、場合によって
6 はその可能性が高い(i) LTTE との関係を疑われている者、(ii) 野党政治家および政
7 治活動家、(iii) ジャーナリスト等メディア関係者、(iv) 人権活動家、(v) 人権侵害の
8 目撃者、人権侵害の被害者で正義を求める者、(vi) 特定の状況の女性、(vii) 特定の
9 状況の子ども、(viii) 特定の状況の同性愛者等。

10 政府または政府に関連する者からの迫害のおそれに関しては、国内避難または移
11 住の選択肢はないとされている。

12

13 6. スリランカへのタミル帰還者たちに対する対応について

14 情報源：IRB – Immigration and Refugee Board of Canada

15 公表日：12.02.2013

16 閲覧日：26.06.2013

17 出典：http://www.ecoi.net/local_link/240922/350350_en.html

18 引用箇所の原文：

19 . . .

20 2. Arrests and Detention

21 According to UNHCR, "there is no systematic monitoring after arrival in Sri Lanka of the
22 treatment of Sri Lankans who were forcibly returned" (UN 21 Dec. 2012, 8).

23 Several sources report on cases of arrest of Tamil returnees to Sri Lanka (ibid, 7; Human
24 Rights Watch 29 May 2012; *The Sydney Morning Herald* 29 Sept. 2012). Several sources
25 also report on cases of detention of Tamil returnees to Sri Lanka (Human Rights Watch 25
26 Feb. 2012; Freedom from Torture 13 Sept. 2012, 5; TAG 16 Sept. 2012). Freedom from

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 Torture, a UK-based medical foundation that helps torture survivors rebuild their lives
2 (n.d.), also notes that three voluntary returnees from the UK were detained twice after
3 returning to Sri Lanka (13 Sept. 2012, 5, 10).
4 Several sources report on cases of arrest of Tamil returnees at the airport upon arrival
5 (Human Rights Watch 29 May 2012; Freedom from Torture 13 Sept. 2012, 10, 14; TAG 16
6 Sept. 2012, 13). However, according to Tamils Against Genocide (TAG), a US-based
7 non-profit litigation advocacy organization, there is also a “practice” of waiting until
8 returnees have left the airport before making arrests (ibid., 1, 13).
9 . . .
10 **2.1 Reports of Torture**
11 At the end of 2011, the UN Committee Against Torture indicated that allegations of the
12 “widespread use of torture” in police custody are “continued and consistent” (UN 8 Dec.
13 2011, 2). Freedom House’s *Freedom in the World 2012* report states that torture occurs
14 during “routine interrogations” (2012).
15 Several sources report on cases of torture of Tamil returnees to Sri Lanka by state
16 authorities (Human Rights Watch 25 Feb. 2012; Freedom from Torture 13 Sept. 2012, 2;
17 TAG 16 Sept. 2012, 3). Human Rights Watch reports on cases of failed Tamil asylum
18 seekers from the UK and various other countries who have been subjected to torture upon
19 return to Sri Lanka (Human Rights Watch 29 May 2012). In February 2012 and May 2012,
20 Human Rights Watch documented thirteen cases of torture of Tamil deportees to Sri
21 Lanka, from which the most “recent” alleged torture occurred in February 2012 (ibid.). The
22 organization claims to have obtained “medical evidence” of torture for the eight cases
23 published on 25 February 2012 (ibid. 25 Feb. 2012). Human Rights Watch indicates there is
24 medical evidence for four of the five cases of torture, which were published on 29 May
25 2012.
26 In September 2012, Freedom from Torture released a publication documenting 24 cases of

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 Tamils who faced torture upon voluntary return to Sri Lanka from the UK after the civil
2 war, and have subsequently returned to the UK (13 Sept. 2012, 1, 3). Twelve of these
3 cases, which occurred between 2009 and 2012, were based on forensic reports
4 documenting physical and psychological consequences of torture, which are prepared by
5 their Medico Legal Report Service consisting of specialist clinicians, who also consider the
6 possibility of fabrication of evidence (Freedom from Torture 1, 2, 4, 8). The remaining 12
7 documented cases of torture took place between 2011 and 2012, and came to the
8 attention of Freedom from Torture through referrals for treatment sent to the
9 organization by the UK's National Health Service, or other health and social care
10 professionals (ibid., 1, 13).
11 A report by TAG reviews the torture allegations of 48 Tamils who returned to Sri Lanka
12 from the UK between 2010 and 2012 (TAG 16 Sept. 2012, 5). TAG indicates that the data
13 used include 26 successful refugee appeal determinations in the UK "exclusively shared
14 with TAG," 11 interviews with asylum seekers, diaspora members, activists and journalists,
15 and 21 medico-legal reports produced for an unpublished thesis at a UK university (ibid.,
16 3-6). According to TAG, "a period of residence in the UK or other 'Western' country may
17 itself constitute a risk factor" for torture (ibid., 3). The organization further states that
18 "[d]emographic determinants are sufficiently broad so as to assume that a majority of
19 Tamils are at risk of arrest and torture upon involuntary return" to Sri Lanka (ibid., 14). In
20 an interview with the Research Directorate, the Executive Director of the Centre for Policy
21 Alternatives (CPA), a Sri Lankan independent and non-partisan organization that works on
22 research and advocacy related to public policies (n.d.), indicated that being abroad leads
23 the security apparatus to "question" returnees, and makes them wonder how the
24 returnees left the country and who they might be associated with (14 Feb. 2013).
25 . . .

26 内容の要約：

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 スリランカへのタミル帰還者たちに対する対応について述べられている。政府によ
2 るタミル帰還者に対する拷問などが行われていたことが示されている。

3

4 7. タミル人の国内避難民の状況について

5 情報源：International Displacement Monitoring Centre (IDMC)

6 公表日：29.04.2013

7 閲覧日：26.06.2013

8 出典：<http://www.refworld.org/docid/517fb0516.html>

9 引用箇所の原文：

10 ・ ・ ・ At the end of September 2012, the Menik Farm displacement camp, where around
11 225,000 Tamil IDPs were interned in June 2009, was closed. Of more than 1,300 IDPs still
12 living in the camp in September, 560 were unable to return to their home areas because
13 they were occupied by the Mullaitivu Security Force headquarters. Instead they were
14 relocated, many of them against their will.

15 ・ ・ ・

16 Many returnees faced challenges in accessing their basic humanitarian needs such as
17 shelter, water and sanitation during 2012. Displaced and returning communities also
18 required livelihood assistance, social support, legal assistance and psycho-social care in
19 recovering from the effects of the conflict. The assistance provided was inadequate to
20 meet the needs. The presence of landmines and unexploded ordnance also continued to
21 complicate the recovery of livelihoods. As of the end of the year, clearance operations
22 were ongoing in both livelihood and residential areas, with 108 km2 of land still in need of
23 demining.

24 内容の要約：

25 2012 年 9 月末、約 225,000 人のタミル人の国内避難民を収容していた Menik Farm
26 避難民キャンプが閉鎖された。まだキャンプに残っていた 1300 人のうち、560 人

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 は自宅地域が Mullaitivu 治安部隊本部によって占拠されていたため自宅に戻ること
2 が出来なかった。彼らの多くは意思に反して移動させられた。
3 . . .
4 2012 年、多くの帰還者はシェルター、水、衛生等のベーシック・ヒューマン・ニ
5 ーズへのアクセスについて問題に直面した。...提供された支援は不十分であっ
6 た。...地雷撤去の必要がある土地はまだ 108 平方キロメートルある。

8. スリランカにおける迫害の恐れを示唆する言及

情報源：Still Human Still Here

公表日：03.05.2012

閲覧日：28.06.2013

出典：

<http://stillhumanstillhere.files.wordpress.com/2009/01/shsh-commentary-on-the-december-2011-sri-lanka-ogn.pdf>

引用箇所の原文：

This commentary identifies what the 'Still Human Still Here' coalition considers to be the main inconsistencies and omissions between the currently available country of origin information (COI) and case law on Sri Lanka and the conclusions reached in the April 2012 Sri Lanka Operational Guidance Note (OGN).

内容の要約：

このコメンタリーは、2012 年 4 月付のスリランカに関する英国国境局指針 (Operational Guidance Note)が見落としていると思われる点や出身国情報と一致していないと思われる点を指摘するものである。

備考：

英国国境局指針には含まれていない、迫害の恐れを示唆する情報が多数紹介されている。特に重要と思われるものについては別途記載したが、詳細は原文を参照

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 いただきたい。

2

3 9. 国際危機グループ(ICG)のスリランカ専門家による指摘

4 情報源：swissinfo.ch

5 公表日：14.02.2013

6 閲覧日：28.06.2013

7 出典：<http://www.swissinfo.ch/jpn/detail/content.html?cid=34985144>

8 引用箇所の原文：

9 キーナンさんは、スリランカ政府がタミル政党と公正な交渉を行う意欲もなく、タ
10 ミル人が多数派を占める北部州やタミル語話者が多数派の東部州において重要な権
11 力を移譲する意思もなく、約束の多くを反古にしていると非難する。

12 さらに、特に北部州においてタミル人に対して現在採られている政策は、タミル人
13 の権利を侵害し、恒久的な政治的解決の可能性を損なっているとも付け加える。

14 備考：

15 ICG のスリランカ専門家とされるアラン・キーナンが ICG による報告書(2011
16 年 11 月)において述べたとされる内容である。

17

18 10. 英国の裁判所がタミル庇護希望者のスリランカへの送還を差止め

19 情報源：The Independent

20 公表日：02.6.2012

21 閲覧日：27.06.2013

22 出典：

23 [http://www.independent.co.uk/news/uk/home-news/judge-halts-deportation-of-tamil](http://www.independent.co.uk/news/uk/home-news/judge-halts-deportation-of-tamil-s-in-fear-of-torture-7811564.html)
24 [s-in-fear-of-torture-7811564.html](http://www.independent.co.uk/news/uk/home-news/judge-halts-deportation-of-tamil-s-in-fear-of-torture-7811564.html)

25 原文：

26 The Home Office is under increasing pressure to halt any future deportations of Tamil

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 asylum seekers to Sri Lanka after a senior judge accepted that there is credible evidence
2 they could be tortured on their return.
3 The last minute decision led to approximately 50 Tamils being taken off a chartered
4 deportation flight back to Sri Lanka on yesterday afternoon and signifies growing
5 discomfort among the judiciary that Britain may be sending people back to their
6 persecutors.
7 In the end the 150 capacity plane left Stansted airport with just 36 people on board. The
8 Independent understands that 22 of the passengers were of Tamil ethnicity with the rest
9 were Sinhalese or Muslim.
10 Over the last nine months Britain has forcibly removed hundreds of Sri Lankans on five
11 separate charter flights despite growing evidence that some have been brutally treated
12 once they land. Although some are visa overstayers and convicted criminals, many are also
13 failed asylum seekers from the country's Tamil minority who fear repercussions of
14 returning to a nation with a dismal human rights record.
15 A thirty year civil war between the Sri Lankan government and Tamil Tiger separatists
16 ended two years ago but human rights groups say torture, kidnappings and extra-judicial
17 killings are still commonplace, particularly in heavily militarised north of the island where
18 Tamils are the majority.
19 The Home Office insists that anyone who is deported is individually assessed to make sure
20 that they are not at risk of torture. However Human Rights Watch has compiled 13
21 instances in the past two years where Tamils deported from European nations – three of
22 whom came from Britain – were subsequently tortured including reports of rape, beatings
23 and victims being burned with hot metal rods. The Foreign Office's latest report on human
24 rights describes Sri Lanka as an area of "serious concern" when it came to abuses but that
25 hasn't stopped the Home Office from pressing ahead with forced removals.
26 The eventual departure of Thursday's flight, which arrived in Colombo early this morning,

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 was preceded by a frantic 24 hours of legal wrangling in the High Court as lawyers worked
2 into the night trying to seek last minute injunctions to turn the plane around.
3 Shortly before the flight took off Mr Justice Eady issued an order stating that one
4 individual should not be removed from the country citing “new evidence relevant to the
5 risk of ill treatment.” Within hours more than 50 passengers were taken off the removal
6 list, some of whom were already on their way to the airport.
7 The decision is not a blanket ban on deporting Tamils but immigration lawyers say it is the
8 first time the judiciary has dissented from the government line that no-one being sent
9 back is at risk. They hope they can use the order to help bolster their argument in future
10 that Tamils who have engaged in political activity in the UK would be at risk of torture.
11 “We now have recognition from a senior judge that the human rights situation in Sri Lanka
12 is a serious problem,” said Karim Assaad, a senior London based human rights solicitor
13 who has many Tamil clients. “There is going to have to be some serious consideration by
14 [immigration minister] Damian Green as to whether they can continue with these forcible
15 removals.”
16 Once flight PVT030 took off lawyers also petitioned a duty high court judge in an attempt
17 to get the plane redirected back to Britain. But after six hours in court the judge eventually
18 refused saying that such a decision should be made by the Court of Appeal, not the High
19 Court.
20 Human right groups say they intend to continue pressuring the government to halt future
21 flight. Brad Adams, executive director for Human Rights Watch’s Asia division, said: “It is
22 absurd that one part of the UK govt is sending people back while another has just issued its
23 annual report on Sri Lanka claiming that torture of and discrimination against Tamils is
24 common.”
25 Keith Best, CEO of Freedom from Torture, added: “The decision by a High Court judge to
26 grant an injunction to stop the removal of a Tamil on the basis of independent evidence of

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 risks on return must be a wake-up call for the government. They should announce an
2 immediate halt to removals to Sri Lanka and undertake a serious review of their policy. The
3 government insists that anyone who is removed is individually assessed to make sure that
4 they are not at risk of ill treatment, but there are now mounting cases of torture following
5 forcible return to Sri Lanka. Clearly, the UK Border Agency failed to prevent these
6 individuals being returned to serious harm.
7 He added: "As Freedom from Torture's ongoing forensic documentation of torture shows,
8 the risk factors are clear: Tamils with a perceived or actual association to the [Tamil Tigers]
9 are at significant risk of torture on return to Sri Lanka. For many of our clients who
10 returned after periods abroad, their activities outside the country, including claiming
11 asylum and participation in peaceful demonstrations, have been recorded and are used
12 against them in interrogation by Sri Lankan officials."

内容の要約：

14 英国国境局は、スリランカへの送還により個人が直面しうる危険についての評価が
15 されるまで、難民認定されなかったタミル人の退去を完全に停止することを命じら
16 れている状況が示されている。

11. タミル人が住む北部の状況について

19 情報源：The Christian Science Monitor

20 公表日：14.08.2012

21 閲覧日：15.06.2013

22 出典：

23 [http://www.csmonitor.com/layout/set/print/World/Asia-South-Central/2012/0814/Mi](http://www.csmonitor.com/layout/set/print/World/Asia-South-Central/2012/0814/Military-lingers-in-Tamil-areas-years-after-Sri-Lanka-s-civil-war)
24 [litary-lingers-in-Tamil-areas-years-after-Sri-Lanka-s-civil-war](http://www.csmonitor.com/layout/set/print/World/Asia-South-Central/2012/0814/Military-lingers-in-Tamil-areas-years-after-Sri-Lanka-s-civil-war)

25 引用箇所の原文：

26 . . .

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 Three years after the national Army defeated the LTTE in a 2009 offensive that left 40,000
2 civilians dead, military camps still mark the landscape in the predominantly Tamil north.
3 The Sinhalese-controlled government justifies the militarization by citing national security
4 concerns.
5 . . .
6 . . . many Tamil civilians worry that the increased security is a cover to exert control over
7 the Tamil minority. It's a claim that, if true, could signal a return to the state-sponsored
8 discrimination that led to war in the first place.
9 . . .
10 Human rights groups report that between October 2011 and March 2012, 56 people –
11 mostly Tamil – were abducted by security forces. Some abductees' bodies have surfaced.
12 And according to local newspapers, two Tamil inmates accused of being LTTE were beaten
13 to death by police in June.
14 A Tamil MP, N. Sivasakthy Ananthan, is collecting names of people still missing from
15 military arrests at the end of the war. His survey amassed 400 names just in July; the final
16 tally could be thousands.
17 . . . the military's spokesperson Brigadier Ruwan Wanigasooriya maintains that "these are
18 all fabricated stories.

19 内容の要約：

20 国軍は 4 万人の民間人犠牲者を出した 2009 年の攻撃により LTTE に勝利した。3
21 年後、主にタミル人が暮らす北部ではいまだに軍のキャンプが目立つ。シンハラ人
22 が支配する政府は安全保障を理由とするが、タミル人の多くは、治安の強化は少数
23 派タミル人に対する支配を強めるための言い訳にすぎないのではないかと懸念して
24 いる。もし事実であれば、そもそも内戦を引き起こすことになった国家公認の差別
25 への回帰を示すものかもしれない。・・・人権団体によると、2011 年 10 月から 2012
26 年 3 月の間に、56 人 - そのほとんどがタミル人 - が治安部隊により誘拐された。

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 遺体が発見された者もいる。地元の新聞によると、LTTE とされるタミル人被收容
2 者 2 名が 6 月に警察により撲殺された。タミル人国会議員の N.Sivasakthy Ananthan
3 は、軍により逮捕された行方不明者の名前を集めている。7 月時点で既に 400 名集
4 まっており、最終的には数千人になる可能性がある・・・軍のスポークスマンは、
5 これらの申立ては全てでっちあげであるとしている。

6

7 12. スリランカ政府によるタミル人に対する攻撃について

8 情報源：Crikey

9 公表日：17.10.2012

10 閲覧日：15.06.2013

11 出典：

12 <http://www.crikey.com.au/2012/10/17/why-tamils-still-flee-war-ravaged-sri-lanka/>

13 引用箇所の内容：

14 . . .

15 It is also true that the Sri Lankan government, its army and its militias, also attacked civilian
16 as well as military targets and that they were brutal towards Tamils. Since the end of the
17 war, the government has even become oppressive towards majority ethnic Sinhalese. But,
18 as a government, they were spared international opprobrium even as, in the last stages of
19 the war, they engaged in what can reasonably only be described as war crimes and crimes
20 against humanity.

21 In the last phase of the war, some 40,000 Tamils, mostly civilians, were killed by
22 indiscriminate government fire into the Tamil Tiger's last stronghold. The survivors were
23 imprisoned and, while most eventually released, many were also summarily executed.
24 Many of those who were released have been unable to return to their homes and land,
25 much of which has since been occupied by the army or an increasing number of previously
26 landless Sinhalese settlers moving north. Tamils are under constant surveillance, have to

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 inform the police of where they live and, worst of all, the “disappearances”, though
2 reduced, are now routine.
3 To say that Sri Lanka’s war has ended is, nominally, correct. But to say that the state no
4 longer persecutes Tamils is, at best, intentionally blind.

内容の要約：

6 スリランカ政府は軍事標的だけでなく民間人も攻撃し、タミル人に対して残忍であ
7 った。内戦終了後、政府は多数派のシンハラ人に対してでさえも抑圧的になってい
8 る。・・・内戦の最終段階では、約 4 万人のタミル人が政府による無差別攻撃によ
9 って殺害された。生存者は刑務所に入れられ、釈放された者もいるが大勢が即決処
10 刑された。釈放された者も、家や土地が軍やシンハラ人たちによって占拠されてい
11 るため、多くは自宅に戻ることが出来なかった。タミル人は常に監視されており・・・
12 行方不明者は減少してはいるものの日常的である。スリランカの戦争が終了したと
13 言うことは名目上は正しいが、国家がもはやタミル人を迫害していないと言うこと
14 は、故意に目をつぶっているにすぎない。

13. オーストラリアからのタミル人庇護希望者の送還に関する言及

16 情報源：The Australian

18 公表日：07.12.2012

19 閲覧日：15.06.2013

20 出典：<http://w3.nexis.com/new/>

原文：

22 A Sri Lankan Catholic bishop has appealed to the Australian government to halt the
23 deportation of Tamil asylum-seekers from the still war-ravaged north and east of the
24 country, warning that returnees face intimidation and harassment by security forces.
25 Bishop of Mannar, Rayappu Joseph, made the appeal in an open letter in which he also
26 claimed some returnees were being forced to turn informant, creating tension in their

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. .スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 communities.
2 ``It is common knowledge that those deported back after seeking political asylum abroad
3 are left to live in fear and fright due to being considered traitors by the government and its
4 armed forces," Mr Joseph wrote.
5 ``They all are meted out with restrictions, threats, intimidation, questionings, surveillance
6 and other forms of harassments and discrimination by the military, police and intelligence
7 officers.
8 ``It is my considered opinion that it is highly dangerous for the asylum-seekers from the
9 north and east of Sri Lanka in Australia to be sent back to Sri Lanka in the prevailing
10 political situation in our regions."
11 Catholic priests are also behind a push to release some 130 mostly Sinhalese failed or
12 returned asylum- seekers who are being detained in prison, some for more than two years.
13 Nearly 600 Sri Lankans have been ``involuntarily returned" to Sri Lanka as economic
14 migrants since the federal government reintroduced offshore processing of
15 asylum-seekers in August, though 3500 have arrived in the past three months.
16 Another 73 asylum-seekers who returned voluntarily have received Australian government
17 assistance packages distributed through the International Organisation of Migration.
18 The vast majority of returnees are Sinhalese men from southern and western fishing
19 communities, whose claims to asylum on grounds of persecution rarely stand up to
20 scrutiny.
21 Many will claim to have been targeted by government forces in retaliation for supporting
22 opposition party candidates in provincial elections.
23 In reality, most Sinhalese fishermen are driven to accept now heavily-discounted boat
24 passages because of economic pressures caused by a plummeting rupee and spiralling fuel
25 and food costs.
26 The IOM says smugglers are now offering asylum-seeker passage without down payment,

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 accepting instead deeds to property as collateral. But Tamil advocates say the situation is
2 vastly different in the north.
3 Tamil National Alliance MP and lawyer M A Sumanthiran says as many as 100,000 Tamils
4 remain displaced and homeless more than three years after the war's end, in many cases
5 because their land had been seized by the military, which maintains a heavy presence in
6 the former Tamil Tigers-held north and east.

内容の要約：

8 スリランカ Mannar 県のカトリック司教が、公開書簡により、オーストラリアからの
9 タミル人庇護希望者の送還を止めるよう要請した。「海外で庇護を求めた後に送還
10 される者は政府および軍により裏切り者とみなされ恐怖に脅えて暮らさなければなら
11 ないことは周知の事実である。彼らは、軍、警察、諜報機関の人員による制限、
12 脅迫、威嚇、尋問、監視その他の嫌がらせ及び差別の対象とされる。...スリランカ北
13 部及び東部出身の庇護希望者の送還はきわめて危険」との見解を示した。

備考：

15 <The Australian>
16 Includes The Australian newspaper, The Weekend Australian newspaper and its inserted
17 Australian Magazine. The Australian is a national morning broadsheet newspaper which is
18 published six days a week. The weekday circulation is 135,000 copies and weekday
19 readership is 441,000. Weekend circulation is 304,000 with weekend readership of
20 952,000.

14. 密航船で来たタミル人庇護希望者に関する訴訟に関する記事

23 情報源： POSTMEDIA NEWS
24 公表日： 22.01.2013
25 閲覧日： 15.06.2013
26 出典： <http://w3.nexis.com/new/>

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

原文：

The Federal Court of Canada has overturned the refugee status granted a passenger aboard a smuggling ship linked to Tamil rebels, just as the refugee board extended protection on the same grounds to a Tamil passenger of a second smuggling ship, highlighting the difficulty in handling the two highly publicized mass arrivals.

The overturned decision involves one of 492 Sri Lankan Tamil migrants who arrived aboard the MV Sun Sea in 2010; the newly granted asylum decision involves one of the 76 aboard the MV Ocean Lady in 2009.

In both, the men had been accepted as refugees under claims that publicity connecting the ships to the Liberation Tigers of Tamil Eelam placed all passengers at risk in their homeland by mere association. The court's rejection of the claim could impact other cases still pending.

In the Sun Sea case, the IRB had accepted the 26-year-old Tamil man as a refugee even though he was not believed to be involved with the LTTE; just being on the ship could lead to persecution, the board said.

. . .

The government appealed the decision to the Federal Court and Justice Paul Crampton accepted its objection.

"A group of people who have decided to travel to Canada on a particular ship," is not "fundamental to a person's basic humanity," wrote Justice Crampton, and did not qualify as what are called "refugees sur place," meaning those not refugees when they leave their homeland but become refugees through the circumstance of their case.

The claimant's testimony, that he had previously been questioned by Sri Lankan officials about possible links to the LTTE and released, is evidence that the government knows he is not a hardcore member of the LTTE, the judge said.

His case was sent back to the IRB for a fresh hearing.

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 Justice Crampton made his decision Nov. 19 but it only disseminated publicly on Monday.
2 The outcome contrasts with another IRB decision made Oct. 16 but released only last
3 week.
4 If he were to return to Sri Lanka, he is afraid that . he would be subject to torture, death,
5 and having his body thrown into the river
6 The second case involves a 24-year-old Tamil who arrived aboard the MV Ocean Lady,
7 which officials identified as a rebel arms smuggling ship.
8 IRB adjudicator Trudy Shecter accepted him as a refugee on the same grounds that Justice
9 Crampton rejected.
10 "If he were to return to Sri Lanka, he is afraid that the government would know or quickly
11 learn, possibly from the Canadian government, that he travelled on the Ocean Lady and he
12 would be subject to torture, death, and having his body thrown into the river," her
13 decision says.
14 She found no evidence he was involved with the LTTE.
15 "I find, however, that the claimant's profile changed when he chose to board the Ocean
16 Lady, a ship that has been suspected of carrying LTTE members into Canada," she wrote.
17 The government is reviewing the IRB's decision, said Alexis Pavlich, spokeswoman for
18 Jason Kenney, Minister for Citizenship and Immigration.
19 Debra Brash/Times Colonist The MV Ocean Lady in a 2009 file photo.
20 The seeming disconnect between the two cases highlights the difficulty in handling the
21 many passengers found aboard the two boatloads of Tamils fleeing the conflict in Sri
22 Lanka when they arrived in Canadian waters.
23 The Sun Sea arrived Aug. 13, 2010, carrying 380 men, 63 adult women and 49 children. As
24 of last week, 50 have been accepted as refugees, 63 have had their claims rejected and 23
25 claims were withdrawn.
26 Deportation orders have been issued against 25; another 16 had admissibility hearings but

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 were not ordered deported, with three non-deportation cases under appeal by the
2 government.
3 Of the 25 people ordered deported, 14 were members of the ship's crew and involved in
4 people smuggling, according to the IRB.
5 Eleven were found to be members of a terrorist organization; two of those were also
6 found to have committed war crimes. One man remains in immigration detention.
7 The Ocean Lady carried 76 males, one a minor, when it arrived Oct. 17, 2009. As of last
8 week, 15 had been accepted as refugees and 15 have had their claims rejected. One claim
9 was withdrawn. Three have been issued deportation orders.
10 Some on each ship also face criminal charges in B.C. for human smuggling - four from the
11 Ocean Lady and six from the Sun Sea.

内容の要約：

13 密航船で来たタミル人庇護希望者に関する訴訟において、カナダの連邦裁判所の判
14 断が分かれた。両者とも、LTTEとの関連性が公にされた密航船に乗船していたため
15 に本国において迫害を受けるとの主張をし、カナダ移民難民委員会(IRB)によって難
16 民認定されていた。政府が控訴したところ、一件は差し戻し、もう一件は認定とな
17 った。...認定処分が維持されたケースでは申請者がLTTEに関与していたとの証拠は
18 なにもなかったが、「LTTEメンバーをカナダに移送していると疑われる船に乗船し
19 た時点で申請者のプロフィールが変化した」との判断がなされた。

備考：

21 <Postmedia Breaking News>
22 Postmedia Breaking News delivers breaking news and enterprising features, drawing on
23 over 1,500 journalists in Canada and around the globe.

15. LTTE と関係のある船に乗ってカナダに来たタミル人全員が、帰還後にスリ
ランカで迫害される危険性について

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 情報源：POSTMEDIA NEWS LTTE

2 公表日：26.02.2013

3 閲覧日：15.06.2013

4 出典：<http://w3.nexis.com/new/>

5 原文：

6 They made their journey on the MV Sun Sea together. But is every passenger from the ship
7 that carried nearly 500 Tamil migrants to Canada in 2010 at risk of persecution if sent home
8 because of the vessel's links to the Tamil Tigers rebel group and their own notoriety?

9 It's a question that's dividing Canada's immigration adjudicators and federal judges as they
10 struggle to determine the asylum-seekers' fate, according to court documents.

11 At issue is whether the publicity around the ship's arrival - which reignited an immigration
12 debate in Canada - and its ties to the Tamil Tigers now make all of the migrants members of
13 a "social group" that would be exposed to persecution in Sri Lanka.

14 In a decision released this week, Federal Judge Sean Harrington said members of the
15 Immigration and Refugee Board and justices of the Federal Court have not been consistent
16 on this question. As a result, "it may well be a matter of chance" who is allowed to stay in
17 Canada and who is not, the judge said.

18 So, in an effort to bring consistency to the issue, Harrington certified a question, which
19 paves the way for the Federal Court of Appeal to determine what the appropriate standard
20 of review should be.

21 His decision stemmed from an Immigration and Refugee Board ruling involving a Sun Sea
22 passenger identified as "B472."

23 An IRB adjudicator had previously found that the young migrant had a "well-founded fear of
24 persecution" if returned to Sri Lanka because of membership in a particular "social group."

25 Even though the migrant had no affiliations with the Tamil Tigers prior to his departure, his
26 status as a passenger on the Sun Sea raised that issue, thus exposing him to the possibility

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 of persecution, the IRB found.
2 The Tamil Tigers were engaged in a lengthy civil war with the Sri Lankan government until
3 the Tigers' defeat in 2009.
4 Under Section 96 of the Immigration and Refugee Protection Act, someone can be found to
5 be a refugee if they have a well-founded fear of persecution "for reasons of race, religion,
6 nationality, membership in a particular social group or political opinion."
7 But representatives for the federal immigration minister disagreed, saying it was
8 unreasonable for the IRB to find that all the Sun Sea's passengers belonged to the same
9 "social group."
10 They said the IRB should have applied a different section of the law, Section 97, which
11 requires a higher standard of proof before protection is granted.
12 Harrington agreed, saying that the Sun Sea's passengers had a "myriad of motives" for
13 coming to Canada. "Some were human smugglers. Some may well have been terrorists.
14 Some were garden-variety criminals who wanted to escape justice. Some had serious
15 reason to fear persecution in Sri Lanka and some, like Mr. 472, were economic migrants.
16 "It may well be that B472 faces a serious risk of persecution were he to be returned to Sri
17 Lanka, but not because of his membership in a particular social group," he said.
18 Harrington sent the case back to the IRB for redetermination.
19 But the judge also acknowledged that his colleagues within the Federal Court have ruled
20 differently in similar cases. And so in the same ruling, he certified a question, which asks the
21 federal appeal court to decide what the appropriate standard of review should be.

22 内容の要約：

23 LTTEと関係がある船に乗って来た500人のタミル人は、全員が本国で迫害される危
24 険があるといえるのか。これについてはIRBおよび連邦裁判所において意見が分かれ
25 ていたため、連邦高等裁判所に判断が委ねられることになった。

26 備考：

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

- 1 <Postmedia Breaking News>
2 Postmedia Breaking News delivers breaking news and enterprising features, drawing on
3 over 1,500 journalists in Canada and around the globe.
4
5 **16. スリランカ軍によりアナウンサーが処刑されたことを示す記事**
6 情報源：The Independent (London)
7 公表日：12.04.2013
8 閲覧日：28.06.2013
9 出典：
10 [http://www.independent.co.uk/news/world/asia/tamil-tv-presenter-begs-dont-send-m](http://www.independent.co.uk/news/world/asia/tamil-tv-presenter-begs-dont-send-me-to-sri-lanka-8570490.html)
11 [e-to-sri-lanka-8570490.html](http://www.independent.co.uk/news/world/asia/tamil-tv-presenter-begs-dont-send-m)
12 引用箇所の原文：
13 A former high-profile newsreader on a Tamil Tiger television channel has pleaded with the
14 international community to save her from being sent back to Sri Lanka where she fears she
15 could be tortured or killed.
16 . . .
17 Isaipriya was the nom de guerre used by one of Ms Lokini's colleagues at National
18 Television of Tamil Eelam (NTT), the main broadcaster in the areas that were once
19 controlled by the Liberation Tigers of Tamil Eelam (LTTE) before their military destruction in
20 early 2009.
21 . . .
22 Multiple photographs emerged after the war of Isaipriya's naked body with her hands tied
23 behind her back and significant trauma to her face and head. Her body was also identified
24 at the end of a separate video shot by Sri Lankan troops showing the summary execution of
25 naked, blindfolded and bound Tamil men and women.
26 . . .

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 Ms Lokini escaped Isaipriya's fate only because she made a daring flight . . .
2 . . . in December 2008, she was smuggled from the Tiger-held city of Kilinochchi
3 to Vavuniya . . .
4 After staying in a relative's house for a further month she was able to fly to India using her
5 own passport. She was later joined by her husband and they decided to seek sanctuary in
6 Australia. " . . .
7 She became one of 46 Tamil refugees picked up by a Singaporean vessel in October 2012.
8 They had been trying to reach Australia when the boat they were travelling in was stricken
9 following a storm and started taking on water. The Tamils were eventually dropped off in
10 Dubai where they have remained incarcerated . . .
11 . . . UNHCR, believes all but seven of the Tamils had legitimate refugee claims and has been
12 working to find them sanctuary in third-party nations. The Independent understands that
13 Sweden has accepted eight of them, and the United States is considering the applications of
14 a further 12. However, 19 Tamils – including Ms Lokini – have yet to find any country willing
15 to take them in, despite their refugee status.

内容の要約：

17 National Television of Tamil Eelam (NTT)の元アナウンサーRathimohan Lokiniが、送
18 還されたら拷問されるか殺されるおそれがあると訴えている。元同僚の27歳のアナ
19 ウンサーは2009年5月にスリランカ軍によって処刑された。彼女の死をめぐる詳細は
20 不明だが、裸で手を後ろ手にしばられ頭部と顔面に重傷を負った彼女の写真が浮上
21 している。目隠しをされ縛られた裸のタミル人男女複数が即決処刑される様子を写
22 したスリランカ軍撮影のビデオの中にも彼女が出てくる。Ms. Lokiniは2008年にキリ
23 ノッチから脱出し、インドに逃れた後オーストラリアに向かおうとしたが、船が嵐
24 にあったため2012年10月に救助され、現在ドバイで収容されている。UNHCRは46
25 人のうち7名を除く全員に難民該当性を認め、第三国の受け入れ先を探している。ス

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 ウェーデンが既に8名受け入れ、アメリカが12名の申請を検討中。Ms. Lokiniを含む
2 19名は難民の地位があるにもかかわらずまだ受け入れ先が決まっていない。

3 備考：

4 <The Independent (London)>

5 "The Independent" was launched in October 1986, and rapidly acquired a reputation for
6 the quality and extent of its reporting, particularly in foreign affairs

7

8 17. オーストラリア在住のスリランカタミル人が一時帰国した際に軍情報部員により拷
9 問等を受けたとされる件について

10 情報源：Xinhua General News Service

11 公表日：25.04.2013

12 閲覧日：27.06.2013

13 出典：http://news.xinhuanet.com/english/world/2013-04/25/c_132340085.htm

14 引用箇所の原文：

15 . . .

16 Australian media on Thursday quoting a Sri Lankan Tamil man named 'Kumar' reported
17 claims of torture and rape allegedly by Sri Lankan army intelligence officers while the
18 victim was on a three week stay in the country.

19 . . .

20 In an interview with Australian media, the victim 'Kumar' said that as he returned to Sri
21 Lanka in March, less than a week after his arrival he and his brothers were allegedly
22 abducted at gunpoint by two men in a white van.

23 He alleged that the men claimed to be army intelligence officers and grilled him about links
24 to the Tamil Tigers, which he denied.

25 He further alleged that on the fourth and final day of his ordeal, Kumar's captors branded
26 his back with hot irons and he only made it back to Australia because his uncle paid a

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 \$20,000 bribe to his captors.
2 The military spokesperson however said that such allegations were just another attempt to
3 justify illegal entry into Australia and to resist the Australian government's stand on illegal
4 asylum seekers who migrate to Australia and other western countries purely for economic
5 gains.
6 . . .
7 The Australian government has been sending Sri Lankans home, citing that the threat of
8 war and persecution is over in the island nation.

内容の要約：

10 スリランカ軍は、オーストラリア在住のスリランカタミル人が最近一時帰国した際
11 に軍情報部員によって拷問等を受けたとする件について関与を否定した。オースト
12 ラリアのメディアが、Kumarと名乗るタミル人が3週間本国にいる間に軍情報部員に
13 より拷問およびレイプされたと報道したところ、軍のスポークスマンは事実を否定
14 した。Kumarは、3月に帰国後、一週間以内に兄弟とともに白いバンに乗った二人組
15 の男に拉致されたとインタビューで話した。Tamil Tigersとの関係について尋問され
16 否認したが、4日目に鉄ごてで背中を焼かれ、叔父が2万ドルの賄賂を払ったために
17 オーストラリアに帰ることが出来たとのこと。スリランカ軍のスポークスマンは、
18 このような申立ては、オーストラリアへの不法入国を正当化し、経済目的で来る不
19 法庇護希望者に対するオーストラリア政府の方針に抵抗する目的でなされたもので
20 あるとした。オーストラリア政府は、戦争と迫害のおそれはもはや終了したとして
21 スリランカ人を送還している。

備考：

22 <Xinhua General News Service>
23 Xinhua, or New China News Agency, is the official news agency of the People's Republic of
24 China. It is an authoritative source for information on Chinese government affairs,
25 economic performance and Chinese views on world affairs.
26

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1

2

18. スリランカ政府の内戦末期における国際法違反を示す内容

3

情報源： Report of the Secretary-General's Panel of Experts on Accountability in Sri

4

Lanka

5

公表日：31.03.2011

6

閲覧日：28.06.2013

7

出典：http://www.un.org/News/dh/infocus/Sri_Lanka/POE_Report_Full.pdf

8

引用箇所の原文：

9

・ ・ ・ Executive Summary

10

・ ・ ・ Allegations found credible by the Panel

11

The Panel's determination of credible allegations reveals a very different version of the

12

final stages of the war than that maintained to this day by the Government of Sri Lanka.

13

The Government says it pursued a "humanitarian rescue operation" with a policy of "zero

14

civilian casualties." In stark contrast, the Panel found credible allegations, which if proven,

15

indicate that a wide range of serious violations of international humanitarian law and

16

international humanrights law was committed both by the Government of Sri Lanka and

17

the LTTE, some of which would amount to war crimes and crimes against humanity.

18

Indeed, the conduct of the war represented a grave assault on the entire regime of

19

international law designed to protect individual dignity during both war and peace.

20

Specifically the Panel found credible allegations associated with the final stages of the

21

war. Between September 2008 and 19 May 2009, the Sri Lanka Army advanced its military

22

campaign into the Vanni using large-scale and widespread shelling, causing large numbers

23

of civilian deaths. This campaign constituted persecution of the population of the Vanni.

24

Around 330,000 civilians were trapped into an ever decreasing area, fleeing the shelling

25

but kept hostage by the LTTE. The Government sought to intimidate and silence the media

26

and other critics of the war through a variety of threats and actions, including the use of

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 white vans to abduct and to make people disappear.
2 The Government shelled on a large scale in three consecutive No Fire Zones, where it
3 had encouraged the civilian population to concentrate, even after indicating that it would
4 cease the use of heavy weapons. It shelled the United Nations hub, food distribution lines
5 and near the International Committee of the Red Cross (ICRC) ships that were coming to
6 pick up the wounded and their relatives from the beaches. It shelled in spite of its
7 knowledge of the impact, provided by its own intelligence systems and through
8 notification by the United Nations, the ICRC and others. Most civilian casualties in the final
9 phases of the war were caused by
10 Government shelling.
11 The Government systematically shelled hospitals on the frontlines. All hospitals in the
12 Vanni were hit by mortars and artillery, some of them were hit repeatedly, despite the fact
13 that their locations were well-known to the Government. The Government also
14 systematically
15 deprived people in the conflict zone of humanitarian aid, in the form of food and medical
16 supplies, particularly surgical supplies, adding to their suffering. To this end, it purposefully
17 underestimated the number of civilians who remained in the conflict zone. Tens of
18 thousands lost
19 their lives from January to May 2009, many of whom died anonymously in the carnage of
20 the final few days.
21 The Government subjected victims and survivors of the conflict to further deprivation
22 and suffering after they left the conflict zone. Screening for suspected LTTE took place
23 without any transparency or external scrutiny. Some of those who were separated were
24 summarily executed, and some of the women may have been raped. Others disappeared,
25 as recounted by their wives and relatives during the LLRC hearings. All IDPs were detained
26 in closed camps.

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 Massive overcrowding led to terrible conditions, breaching the basic social and economic
2 rights of the detainees, and many lives were lost unnecessarily. Some persons in the camps
3 were interrogated and subjected to torture. Suspected LTTE were removed to other
4 facilities, with no contact with the outside world, under conditions that made them
5 vulnerable to further abuses.
6 Despite grave danger in the conflict zone, the LTTE refused civilians permission to leave,
7 using them as hostages, at times even using their presence as a strategic human buffer
8 between themselves and the advancing Sri Lanka Army. It implemented a policy of forced
9 recruitment throughout the war, but in the final stages greatly intensified its recruitment
10 of people of all ages, including children as young as fourteen. The LTTE forced civilians to
11 dig trenches and other emplacements for its own defences, thereby contributing to
12 blurring the distinction between combatants and civilians and exposing civilians to
13 additional harm. All of this was done in a quest to pursue a war that was clearly lost; many
14 civilians were sacrificed on the altar of the LTTE cause and its efforts to preserve its senior
15 leadership.
16 From February 2009 onwards, the LTTE started point-blank shooting of civilians who
17 attempted to escape the conflict zone, significantly adding to the death toll in the final
18 stages of the war. It also fired artillery in proximity to large groups of internally displaced
19 persons (IDPs) and fired from, or stored military equipment near, IDPs or civilian
20 installations such as hospitals.
21 Throughout the final stages of the war, the LTTE continued its policy of suicide attacks
22 outside the conflict zone. Even though its ability to perpetrate such attacks was diminished
23 compared to previous phases of the conflict, it perpetrated a number of attacks against
24 civilians outside the conflict zone.
25 Thus, in conclusion, the Panel found credible allegations that comprise five core categories
26 of potential serious violations committed by the Government of Sri Lanka: (i) killing of

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 civilians through widespread shelling; (ii) shelling of hospitals and humanitarian objects;
2 (iii) denial of humanitarian assistance; (iv) human rights violations suffered by victims and
3 survivors of the conflict, including both IDPs and suspected LTTE cadre; and (v) human
4 rights violations outside the conflict zone, including against the media and other critics of
5 the Government.
6 The Panel's determination of credible allegations against the LTTE associated with the final
7 stages of the war reveal six core categories of potential serious violations:
8 (i) using civilians as a human buffer; (ii) killing civilians attempting to flee LTTE control; (iii)
9 using military equipment in the proximity of civilians; (iv) forced recruitment of children;
10 (v) forced labour; and (vi) killing of civilians through suicide attacks.
11 . . .
12 The Lessons Learnt and Reconciliation Commission
13 The Government has established the Lessons Learnt and Reconciliation Commission as the
14 cornerstone of its policy to address the past, from the ceasefire agreement in 2002 to the
15 end of the conflict in May 2009. ...
16 In sum, the LLRC is deeply flawed, does not meet international standards for an effective
17 accountability mechanism and, therefore, does not and cannot satisfy the joint
18 commitment of the President of Sri Lanka and the Secretary-General to an accountability
19 process.

内容の要約：

21 特に内戦末期において、北部地域の民間人に対する砲撃、LTTE 容疑者に対する人権
22 侵害を含め、スリランカ政府が重大な国際法違反を行ったことを示唆している。LTTE
23 と民間人の区別がしにくくなっていたことにも言及あり。
24 スリランカ政府が設置した「過去の教訓・和解委員会 (Lessons Learnt and
25 Reconciliation Commission)」については、国際的な基準を満たしていないとの結論が
26 示されている。

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 備考：

2 国連事務総長が設置した専門家委員会(panel of experts)によるスリランカに関する
3 調査報告書。

4

5 **19. タミル人がスリランカに帰還する際に直面しうる問題について**

6 情報源：Immigration and Refugee Board of Canada

7 公表日：22.08.2011

8 閲覧日：28.06.2013

9 出典：http://www.irb-cisr.gc.ca:8080/RIR_RDI/RIR_RDI.aspx?id=453562&l=e

10 [http://stillhumanstillhere.files.wordpress.com/2009/01/shsh-commentary-on-the-dec](http://stillhumanstillhere.files.wordpress.com/2009/01/shsh-commentary-on-the-december-2011-sri-lanka-ogn.pdf)
11 [ember-2011-sri-lanka-ogn.pdf](http://stillhumanstillhere.files.wordpress.com/2009/01/shsh-commentary-on-the-december-2011-sri-lanka-ogn.pdf)

12 引用箇所の原文：

13 . . .

14 an official from the Canadian High Commission in Sri Lanka stated...

15 The screening process is the same for all persons returning to Sri Lanka - whether
16 voluntarily or by escort. The process is not impacted by ethnicity.

17 . . .

18 In contrast to the Canadian High Commission official's statement is a joint submission
19 prepared specifically for the Research Directorate by the following parties:

20 Law and Society Trust, a non-profit organization based in Colombo that is "conducting
21 human rights documentation, research and advocacy" work (Law and Society Trust n.d.);
22 INFORM Human Rights Documentation Centre, a "Sri Lankan human rights organization"
23 that has been active since 1989 and that focuses on "monitoring, documentation and
24 networking" (WEDO n.d.);

25 Networking for Rights in Sri Lanka, a group creating a national and international network
26 of Sri Lankan human rights defenders (NFR Sri Lanka n.d.); and

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 a human rights lawyer in the United Kingdom (UK) (Law and Society Trust et al. 18 July
2 2011, 7).
3 With regard to security procedures at the Colombo airport for failed Tamil refugee
4 claimants, their joint submission states that
5 [i]mmigration authorities are alerted about the impending arrival of those who are
6 deported or who are 'returned' as a result of failed asylum processes. They are also
7 identifiable by the fact that they travel on temporary travel documents. These individuals
8 are taken out of immigration queues and subjected to special questioning by the Police,
9 and by members of the Terrorist Investigation Department [TID]. They are almost always
10 detained, sometimes for few hours, and sometimes for months, until security clearance is
11 obtained. In situations in which most families of the deported/returned persons have been
12 displaced due to the war, are not contactable by telephone, and in which Police records
13 that could attest to their legitimate address and non-involvement in criminal or terrorist
14 activity have often been misplaced due to the constant cycles of displacement undergone
15 by the entire community of the North and East in the past years, obtaining the required
16 security clearance may take months. If there is no family member to follow up, this may
17 lead to indefinite detention. (Law and Society Trust et al. 18 July 2011, 5)
18 Their joint submission further notes that Tamil returnees are "particularly vulnerable if
19 they arrive individually, and if no one knows they are arriving" (ibid., 6).
20 On 19 May 2010, the Director of the Edmund Rice Centre, an Australian research,
21 advocacy and networking organization that also works with refugees and asylum seekers
22 (Edmund Rice Centre n.d.), said that Sri Lanka is "not safe for deported asylum seekers,"
23 including anyone connected to the Tamil Tigers or who left the country illegally (ibid. 19
24 May 2010). He explained that the Sri Lankan authorities are of the view that "any Tamil
25 who fled the country in an unauthorized way must be an LTTE [Liberation Tigers of Tamil
26 Eelam] sympathizer, or if they are Singhalese, then they must be a traitor" (ibid. 19 May

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. .スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 2010). The Director also noted that in the months leading up to May 2010,
2 "all asylum seekers returned to Sri Lanka ... [were] handed over to the CID, the Sri Lankan
3 Police, and taken into custody. Some [were] detained, some [were] assaulted." (ibid.)
4 In a 30 June 2011 telephone interview with the Research Directorate, an adjunct professor
5 of political science at Temple University, who is currently conducting research on Sri Lanka,
6 indicated that information from sources in Sri Lanka suggests that the government has
7 stationed former Tamil Tigers, who have sided with the government and are working with
8 the Sri Lankan security forces, at the Bandaranaike International Airport where they screen
9 arriving individuals. The professor noted that
10 if you are a Tamil and have any connection to the Tamil causes, it is very likely that you
11 would be screened at the airport and taken into police custody. It is very hard for anyone
12 that has a connection to the Tamil Tigers to go back to Sri Lanka. (Adjunct Professor 30
13 June 2011)
14 He also said that Tamils without any connection to the Tamil Tigers but with a history of
15 opposing government policies would be considered associated with the Tigers and be
16 screened at the airport (ibid.). The professor further stated that a person who has any past
17 connection to the Tamil Tigers or a history of opposing the government will be detained
18 and questioned (ibid.). He added that there have been reports of "abuse and torture" of
19 airport detainees (ibid.).
20 The Director of the Edmund Rice Centre also noted that "[a]nyone who publicly dissents
21 from the Government's position is at risk" (19 May 2011). He explained that
22 "[d]etention can be indefinite and court processes are heard within the prison itself. No
23 legal arguments are taken, and most often magistrates just continue to postpone the cases
24 to a later date." (ibid.)
25 In a January 2011 article, the daily Sri Lanka Guardian reported that Colombo's Katunayake
26 International Airport has a "heavy presence of the intelligence officers" who

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. .スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 "systematically targeted" Tamils coming back from overseas, putting them through
2 "extensive interrogative processes for several hours" (5 Jan. 2011). According to the news
3 site's sources, Tamil passengers on all incoming and outgoing flights are the focus of the
4 TID (Sri Lanka Guardian 5 Jan. 2011). These sources report that TID officials take individuals
5 into custody, either interrogating them for hours or taking them away "in unmarked white
6 vans to unknown destinations" (ibid.).

7 . . .

8 内容の要約：

9 海外で難民不認定処分を受けた者を含め、タミル人がスリランカに帰還する際に直
10 面しうる問題について述べている。

11 備考：

12 カナダ政府の難民認定機関による文書である。

13

14 **20. スリランカの Colombo および北部におけるタミル住民に関する人権と安全**
15 **の問題に関する報告書**

16 情報源：LANDINFO (The Country of Origin Information Centre)

17 公表日：7.12.2012

18 閲覧日：28.06.2013

19 出典：<http://www.refworld.org/docid/51346a1f2.html>

20 引用箇所原文出处：

21 . . .

22 **2.3.4 Jaffna**

23 According to an international organisation it is difficult to get representative information
24 on the situation in Jaffna. It's argued that the population has a more relaxed attitude to
25 the army than they had a few years ago. There is broad consensus that Jaffna is still heavily
26 militarised and that the police have limited authority. The High Security Zone (HSZ) still

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 includes large residential and agricultural areas, and vast areas are contaminated by
2 mines. Surveillance and security screening of civilians do not appear to be as extensive in
3 Jaffna as in Vanni. During the day there are only a few checkpoints, but several
4 interlocutors claim that additional checkpoints are established during the evening and
5 night-time. Both local politicians and representatives of international organisations claim
6 that in many areas people don't go out after dark. The security forces don't appear to have
7 organised such comprehensive household monitoring as in the Vanni, but the former EMR
8 regulation requiring meetings between three or more participants to be reported to the
9 army is still implemented. A member of parliament from Jaffna claimed that the army is
10 harassing the local population through frequent house searches.
11 A representative of an international organisation claimed that military personnel are
12 encouraged (*pushed*) to participate in civil events. The source claimed that in some cases
13 the military are invited by locals, usually to strengthen the locals' own position. Both an
14 international and a local informant indicated that there are few arrests. An international
15 organisation had not received any complaints related to PTA cases in the first four months
16 of 2012. Representatives of the international organisation consider that the – relatively –
17 few who are arrested, are apprehended on the basis of intelligence. A local representative
18 of a rights organisation provided information that confirms the developments indicated. A
19 few years ago the organisation annually received a significant number of complaints
20 (*hundreds*) about arrests and disappearances. Today the organisation rarely receives
21 complaints of arrests.
22 Many of the sources had seen an increase in the number of disputes and conflicts relating
23 to land, partly as a result of returned IDPs and the army's occupation of private properties.
24 Several sources with ties to the TNA claim that the army is working close with the EPDP,
25 but the allegations about the party's relations with the security forces and armed party
26 members, was not well substantiated. A central TNA politician, who was asked to give

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 examples of EPDP members using weapons, pointed out that EPDP-members had bulges
2 on their clothes in certain situations. A representative of an international organisation said
3 that there is no evidence that the EPDP members use weapons, but he/she underlined
4 that the party is privileged and given space to consolidate in Jaffna. EPDP is blending into
5 and trying to become identified with humanitarian projects. TNA politicians claimed that
6 the EPDP is supported with large sums of money to buy followers.

7 . . .

8 内容の要約：

9 この報告書は、特にスリランカにおける Colombo や Vanni、Jaffna におけるタミル住
10 民に対する安全や人権状況について焦点をあてている。
11 Vanni 地域は、Vavuniya 県や Mannar 県、Mullaitivu 県、Killinochchi 県において 200
12 年前に LTTE が支配していた地域とされている。また、LTTE は Jaffna の一部も支配し
13 ていたとの言及がある。

14 備考：

15 LANDINFO (The Country of Origin Information Centre)は、ノルウェーの出身国
16 情報調査機関である。引用箇所の原文における脚注は省略している。

17

18 21. 帰還者の対応について

19 情報源：UK Border Agency Country of Origin Information Service

20 公表日：00.12.2012

21 閲覧日：28.06.2013

22 出典：

23 <http://www.ukba.homeoffice.gov.uk/sitecontent/documents/policyandlaw/coi/srilanka12/bulletin-december.pdf?view=Binary>

25 引用箇所の原文：

26 1.01 In a news release issued on 29 May 2012, Human Rights Watch (HRW) noted:

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 'Investigations by Human Rights Watch have found that some failed Tamil asylum
2 seekers from the United Kingdom and other countries have been subjected to
3 arbitrary arrest and torture upon their return to Sri Lanka. In addition to eight cases
4 in which deportees faced torture on return reported in February [referred in the
5 HRW press release, 'UK: Halt Deportations of Tamils to Sri Lanka', 25 February
6 2012], Human Rights Watch has since documented a further five cases in which
7 Tamil failed asylum seekers were subjected to torture by government security
8 forces on return from various countries, most recently in February 2012.'
9 'The Sri Lankan security forces have long used torture against people deemed to be
10 linked to the Liberation Tigers of Tamil Eelam (LTTE), and growing evidence
11 indicates that Tamils who have been politically active abroad are subject to torture
12 and other ill-treatment, Human Rights Watch said. Four of the five cases recently
13 reported to Human Rights Watch were corroborated by medical reports.
14 'A Tamil woman asylum seeker returned to Sri Lanka in May 2009 said she was
15 detained, questioned and subjected to torture including sexual abuse by security
16 agents, and imprisoned for five months at an army camp.
17 'Two Tamil men returned described torture by Sri Lankan authorities upon arrival in
18 Colombo. One said he was severely beaten and scalded with cigarettes and heated
19 iron rods. The second told Human Rights Watch about his torture at the
20 headquarters of the military Criminal Investigations Department after he was
21 detained at the airport...'

内容の要約：

22
23 スリランカへの送還後の収容や人権侵害に関する人権団体等による報告、スリラン
24 カへの送還に関する各種統計、帰還後の扱い等に関する在スリランカ英国大使館に
25 による調査結果、IGC メンバー諸国へのアンケート結果等、詳細な情報が含まれてい
26 る。

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 人権団体による報告の一例では、Colombo に帰還した 2 人のタミル男性による証言
2 について述べられており、政府により拷問を受けたことが示唆される。

3 備考：

4 英国国境局・出身国情報部 (UK Border Agency Country of Origin Information
5 Service) による 2012 年 12 月に出された報告書である。

6

22. 英国国境局・出身国情報部によるスリランカの出身国情報

8 情報源：UK Border Agency Country of Origin Information Service

9 公表日：04.07.2011

10 閲覧日：28.06.2013

11 出典：<http://www.moj.go.jp/content/000095467.pdf>

12 引用箇所の原文：

13 . . .

14 人権

15 7. はじめに

16 7.01 米国国務省の 2011 年 4 月 8 日発表の「2010 年人権報告書：スリランカ」(USSD
17 2010)には、次のように述べられている。

18 「政府およびその機関は、依然として、重大なる人権侵害を犯している。治安
19 部隊による裁判外殺害の件数は減少してはいるものの、治安部隊は、恣意的で
20 不法な殺害を犯している。行方不明も依然として問題だが、その件数は減って
21 きている。独立の監視団体の多くが言っていることだが、少数派の人々には
22 恐怖の環境が残っている。その多くは過去の事件を引きずっている。治安部隊
23 は拘束者に対する拷問や虐待を行っており、劣悪な刑務所環境も問題であり、
24 当局は市民を恣意的に逮捕し拘束している。タミル・イーラム解放の虎 (LTTE)
25 の 30 年近くにわたる戦いの余波で、2009 年 5 月に LTTE は敗北したにもかかわらず、
26 人権への影響が残っている。武装分離主義者たちの

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 復活を阻止しようと努力している政府は、LTTE 支持者や活動家の疑いのある者
2 の捜索と拘束を続けている。治安当局に与えられた刑事免責も問題である。民
3 事裁判所や軍法会議が人権侵害で軍人や警官を有罪にしたと言う公な報告など
4 は一つもない。政府は戦後教訓・和解委員会（LLRC）を設置した。公正な公開
5 裁判の否定も問題である。司法は政治に影響を受けており、政府は市民の個人
6 的権利を侵害している。政府が言論と報道の自由を制限したという例もあり、
7 集会・結社の自由が制限されたという事例もある。当局は、政府に批判的なジ
8 ャーナリストにハラスメントを与えている。」

9 . . .

10 内容の要約：

11 英国国境局・出身国情報部がスリランカにおける基本情報をまとめた報告書(2011
12 年 7 月)である。具体的な内容として、スリランカにおける武装部隊などによる恣意
13 的逮捕などに関する言及があり、LTTE 支持者などの疑いのある者の拘束などが続け
14 られているとのこと。また、治安部隊による拘束者に対する拷問などが行われてい
15 ることが指摘されている。

16 備考：

17 原文は、英国国境局・出身国情報部により出された報告書を日本政府により翻訳し
18 たものである。

19

20 23. スリランカにおける無期限拘禁を示す記事

21 情報源：ヒューマンライツ・ウォッチ

22 公表日：01.02.2010

23 閲覧日：28.06.2013

24 出典：

25 引用箇所の原文：

26 スリランカ政府は、1 万 1 千名を超える人びとを強制収容施設（スリランカ政府は

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 「リハビリセンター」と呼ぶ)に恣意的かつ無期限に拘束中である。スリランカ政
2 府は刑事訴追もなく拘束されている人びとを釈放するべきである、と本日ヒューマ
3 ン・ライツ・ウォッチは述べた。
4 . . .
5 ヒューマン・ライツ・ウォッチのアジア局長ブラッド・アダムズは「スリランカ政
6 府は、何ヶ月間も法律的に曖昧な根拠で 1 万 1 千人を拘束してきている。」と語っ
7 た。「今こそ、スリランカの治安に対し本当に脅威である人びとを特定し、その他
8 の脅威でない人びとは釈放すべきだ」
9 スリランカ政府は、被疑者の基本的権利を奪っている。具体的には、逮捕された具
10 体的理由を告知される権利や、独立かつ中立な司法当局に拘束の違法性について異
11 議申立をする権利、弁護士や家族と面会する権利など。拘束されている人びとは、
12 何らかの犯罪で訴追されているのか、拘束される理由となった容疑事実は何かなど、
13 不明なままである。
14 確かに、スリランカ政府には、公共の安全を守る権利と責任がある。しかし、その
15 責任も、基本的人権を尊重しつつ合法的な手法で行なう必要がある。
16 . . .

備考：

18 2009 年 5 月にスリランカ政府と「タミル・イスラーム解放のトラ (LTTE)」の間で
19 行われた内戦が終結したとされているが、終結に至る数ヶ月の間に約 30 万人の「戦
20 争被災者難民たち」が政府により北部に位置する強制収容所に閉じ込められたこと
21 も述べられている。
22 LTTE 関係者であると疑いのかけられた者に対する政府による拷問などが行われて
23 いることが示唆されている。そのため、政府が「被疑者の基本的権利を奪っている」
24 などとする指摘がある。

24. 民族対立を理由とした迫害の恐れにより難民認定された事例

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q..スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 情報源：ウォール・ストリート・ジャーナル

2 公表日：21.12.2009

3 閲覧日：28.06.2013

4 出典：

5 http://jp.wsj.com/public/page/0_0_WJPP_7000-14947.html?mg=inert-wsj

6 原文：

7 政府が8月下旬、日本に住むスリランカ人の男性を国連難民条約に基づく難民とし
8 て認定し、定住を許可していたことが21日、分かった。男性の支援団体などが明
9 らかにした。スリランカでは5月に内戦が終結したが、その後も続く民族対立によ
10 り、迫害を受ける恐れがあると判断された。同国出身者で難民に認定されたのは初
11 めて。

12 スリランカでは、多数派のシンハラ人を中心とする政府軍と、少数派のタミ
13 ル人が組織する反政府組織「タミル・イーラム解放のトラ（LTTE）」による内
14 戦が長年続き、今年5月に政府軍が勝利した。

15 今回、難民認定されたのは、50代の元公務員のタミル人男性で、シンハラ人の女
16 性と結婚している。内戦当時にLTTEへの協力を拒んだため脅迫され、2006
17 年に日本に渡り、07年に難民申請していた。

18

19 25. スリランカにおける民間人に対する虐待や強制徴兵などを示す報告書

20 情報源：ヒューマンライツ・ウォッチ

21 公表日：16.12.2008

22 閲覧日：28.06.2013

23 出典：<http://www.hrw.org/ja/news/2008/12/15-4>

24 引用箇所の原文：

25 . . .

26 17 ページの報告書「閉じ込められ、虐待される民間人たち：ワンニでのLTTEに

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q..スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 よる虐待」は、LTTE が支配地域に住むタミル人に残虐な人権侵害を行ってい
2 る実態を詳細にまとめている。タミル・イーラム解放のトラ(LTTE)は、タミル
3 人国家の独立を求めて 25 年に渡り戦い続けている反政府武装組織である。
4 「LTTE はタミル人のために戦っていると主張するが、実は、ワンニの民間人の苦し
5 みの多くの原因は LTTE 自身にある」と、ヒューマン・ライツ・ウォッチのアジア局
6 長ブラッド・アダムスは述べた。「LTTE は、タミル人のために戦いだと言っておき
7 ながら、政府軍の前進で支配地域を失う中、肝心のその人々への虐待を悪化させて
8 いる。」
9 政府軍攻勢が続く中、LTTE は、支配地域に住む民間人に対する圧力を増してきた。
10 LTTE は自分たちの支配地域から民間人が逃げ出さぬよう強制的な通行管理を長く
11 行なってきたが、現在では、医療の緊急事態を除き、人々がワンニの外に出る事を
12 完全に禁止。避難民たちが政府支配地域に避難することを禁止するこの LTTE の政策
13 のため、避難民たちは、必要不可欠な人道援助にアクセスすることが非常に困難に
14 なっている。2008 年 3 月以降、わずかに約 1000 名しか本紛争地域からの避難に成
15 功していない。
16 ...
17 過去 25 年間、LTTE は膨大な数の民間人を殺害し、スリランカ内外で政治的暗殺を
18 実行し、自爆攻撃を行ってきた。少数民族タミル人コミュニティ内で LTTE に政
19 治的に反対する勢力のほとんどを組織的に抹殺し、多くのジャーナリストやライバ
20 ル組織のメンバーの殺害を実行。LTTE は支配地域で恐怖政治を行い、表現・結社・
21 集会・移動の自由といった基本的人権を否定してきている。

22 ...

26. スリランカにおける民族間の対立の歴史的背景

情報源：川島耕司

公表日：20.02.2006

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 閲覧日：28.06.2013

2 出典：

3 川島耕司『スリランカと民族-シンハラ・ナショナリズムの形成とマイノリティ集団』明
4 石書店、2006 年

5 引用箇所の原文：

6 (p.221-222)

7 ……民族間の対立を深刻化させたおそらく最大の要因は、シンハラ・ナショナリ
8 ズムというイデオロギーである。…このイデオロギーは他のコミュニティとの差異
9 を強調し、敵意や憎悪を煽ることで宗教的な、あるいは民族的な争いを拡大させる
10 大きな原因となった。その極端な形において、シンハラ人をセイロン島の「支配人
11 種」(master race)であるとするこのイデオロギーは徐々に民衆の間に浸透していった。
12 その形成と発展に大きな影響を与えた一人がアナガーリカ・ダルマパーラであった。
13 彼の発した「人種の純粋性」「真の選民」といった言葉は、今なお多くのシンハラ
14 人の感情をかきたて続けていると言われる。

15 (p.224)

16 このイデオロギーに従えば、他のマイノリティ集団は「恒久的なゲスト」というこ
17 とになる。「本来ならばスリランカに存在しないはずの人々」と言ってもよいかも
18 しいない。こうして、マイノリティは「適切な場所」ととどまる限りにおいてその
19 存在は許されるが、自らの場所を忘れ、その境界を踏み越えたときには何らかの形
20 で制裁が加えられなければならないということにもなりうる。スリランカで頻発し
21 たマイノリティへの暴力はそうした自らの「場所」を忘れた行為への罰なのであり、
22 「適切な場所」を教えるためのレッスンであると解釈されるのである。その結果、
23 多くの人々のなかではマイノリティへの暴力は完全に正当化され、罪悪感を伴うこ
24 となく執行された。

25 (p.232-234)

26 ……1977 年から 83 年にかけて 3 つの大規模な暴動が発生し、民族的な対立はま

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 すまず深まっていった。
2 ・・・・1983 年の暴動はさらに大規模なものとなった。このときの死者は公式には
3 400 人ほどとされるが、実際は 2000 人から 3000 人が殺害されたとみられている。
4 またコロombo だけで 10 万人以上のタミル人が住居を追われた。特にこの暴動は、
5 多くのタミル人たちの世界観やアイデンティティの政策を大きく変えるものでもあ
6 ったとされる。・・・暴動はスリランカ全域のタミル人たちに「安全ではない」と
7 という感覚、あるいは未来と不確かさという感覚を強く与えることになった。いかな
8 る政治的イデオロギーの持ち主であろうと、シンハラ人暴徒の襲撃の前ではタミル
9 人でしかないという事実、あるいは「タミル人であることは恐怖のなかで生きるこ
10 と」と認識せざるをえない状況は、世界を二極化したものとしてみる見方を多くの
11 タミル人に強いることになった。
12 ・・・・
13 さらに暴動に際して多くの政治家、軍、警察、その他の官吏たちが被害にあったタ
14 ミル人たちを助けようとしなかっただけでなく、なかには直接的、間接的に暴動に
15 加わった者があったという事実、あるいはそうした人々がその後も罰せられていな
16 いという事実は、多くのタミル人たちのスリランカ国家に対する信頼を徹底的に失
17 わせるものとなった。実際、軍や警察のタミル人への態度は独立後大きく変わった。
18 ・・・・1958 年の暴動時には軍や警察はタミル人たちを助けたが、1977 年には
19 無関心になった。そして 1981 年以降は軍や警察自体が暴動に加わった。
20 ・・・・

備考：

21
22 古い情報ではあるが、タミル人に対する差別や暴力等が内戦以前から存在すること
23 を示唆している。

24
25 27.

26 情報源：Gordon Weiss

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

- 1 公表日：0.0.2012
- 2 閲覧日：28.06.2013
- 3 出典：Gordon Weiss, "The Cage: The Fight for Sri Lanka and the Last Days of the
- 4 Tamil Tigers," Bellevue Literary Press, 2012
- 5 引用箇所の原文：
- 6 (p.223)
- 7 . . .
- 8 Aid workers and nongovernmental organizations are prone to exaggerating the numbers
- 9 of dead, or the numbers of women raped, or the numbers of landmines sown, in order to
- 10 stir up timely attention to conflicts... Nevertheless, it seems certain that in Sri Lanka, many
- 11 thousands of civilians were killed in the final few months of a war "conducted with
- 12 unprecedented secrecy" behind a wall of managed silence. Ordinarily charged in the
- 13 world's conflicts with tracing missing relatives, the ICRC in Sri Lanka was prevented by the
- 14 government from collecting any data that would provide an overall picture of the dead or
- 15 missing. If so few had died, it made no sense for the government to hide the dead and
- 16 prolong the misery of those who survived, wondering at the fate of their missing relatives.
- 17 If the 1983 riots and the deaths of a few thousands Tamils had created a searing memory
- 18 and rallying point that gave rise to the Tamil Tigers, how do prospects fare now for peace
- 19 and stability in Sri Lanka?
- 20 (p.227-228)
- 21 . . .
- 22 The evident brutality of the final phase of Sri Lanka's war, the treatment of the captive
- 23 population, the postwar militarization, the rejection of accountability and the political
- 24 reconfiguring of the nation imply a political objective that has little interest in the hearts
- 25 and minds of those who were "rescued." It suggests instead a commitment to the
- 26 complete subjugation of the Tamil population by force, and an intention to sustain a grip

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
回答日 2013 年 6 月 28 日

Q..スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1 over this restive group through terror and ethnic cleansing.

2 内容の要約：

3 NGO は死者の数等を誇張しがちであるが、スリランカにおいて内戦末期の数ヶ月間
4 だけで数千人単位の民間人が殺害されたことは確かなようだ。通常戦闘地域で行方
5 不明者の捜索に関わる国際赤十字委員会(ICRC)がスリランカ政府により情報収集を
6 阻まれる等、戦闘は秘密裏に行われていた。1983 年の暴動と数千人のタミル人の死
7 の記憶がタミルタイガーの台頭を招いたのだとしたら、今、スリランカの平和と安
8 定の展望はいかなるものであろうか。

9 . . .

10 内戦末期の残忍さ、国民の扱い、戦後の軍事強化、責任の放棄等からは、. . . 力
11 によるタミル人の完全な征服と、テロおよび民族浄化により彼らに対する支配を維
12 持する意思がうかがわれる。

13

14 備考：

15 筆者は、スリランカの内戦末期における国連広報官であった。2009 年の内戦当時の
16 北部におけるスリランカ政府と LTTE 間での戦闘状況において、特に民間人に対する
17 人権侵害があったことを細かく示している。

18

19

20

21

22

23

24

25

出身国情報クエリー

COI Query

ID 番号 S-2013-1
 回答日 2013 年 6 月 28 日

Q. スリランカ：内戦終了前の北部出身タミル人に対する迫害状況と、内戦終了後における海外からの帰還者への迫害の危険

行番号

1

<確認したサイト>

✓	チェック日	種類	サイト	サイト内容
✓	28.06.2013	一般	Refworld	レフワールド (UNHCR による総合情報サイト)
✓	28.06.2013	一般	ECOI	エコアイ (奥独愛による難民出身国情報総合サイト)
✓	28.06.2013	一般	Google	一般検索サイト
		他国先例	RRT	オーストラリア難民審査法廷の先例集
		他国先例	Immigration and Protection Tribunals "Refugee/Protection Decisions"	N Z 移民保護法廷先例集
✓	11.06.2013	他国先例	判例検索システム	日本の最高裁
✓	28.06.2013	国際機関	UNHCR	国連難民高等弁務官事務所
✓	28.06.2013	国際機関	UNHCHR	国連・人権条約機関
		国際機関	IOM	国連移住機関
✓	28.06.2013	NGO	Human Rights Watch	人権 NGO (日本語ページあり)
✓	18.06.2013	NGO	Amnesty International	人権 NGO
✓	28.06.2013	政府	UKBA	ユーケービーエー (英国国境局による国別報告)
		政府	米国	
		政府	カナダ	
✓	28.06.2013	政府	日本法務省	
✓	20.06.2013	政府	日本外務省	渡航者情報
✓	13.06.2013	LN 製品	Lexis.com	世界の判例情報
✓	11.06.2013	LN 製品	Lexis ASONE	日本の判例検索
✓	13.06.2013	LN 製品	Nexis.com	世界のニュース検索

2